

都市再生整備計画 事後評価シート

鹿追市街地地区

平成27年3月

北海道鹿追町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	鹿追町		地区名	鹿追市街地地区			面積	215ha				
交付期間	平成23年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	365	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	道路事業：泉町4丁目東仲通り、東町1丁目本通り、東町2丁目通り、4丁目北通り、新町北本通り、仲町北仲通り、2丁目仲通り、元町仲通り 地域生活基盤施設(緑地)：農芸公園												
		提案事業													
		事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業													
		提案事業													
	新たに追加した 事業	基幹事業	道路事業：泉町4丁目本通り、泉町4丁目西通り					町が宅地分譲を行っているいずみ野団地内の道路を整備することにより、新興住宅地の居住環境を向上させ、定住人口の増加を図った。			定住者人口の指標に影響するが、目標数値は据え置く。				
		提案事業													
	交付期間 の変更	当 初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響	農芸公園整備事業の完了がH26の冬になり、計画期間中に事業効果を発揮することができなかった。									
		変 更	平成23年度～平成26年度												
	2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単 位	従前値		目 標 値		数 値		目 標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値							
指標1		周辺観光施設の利用者数	人／年	210,000	H21	217,000	H27	205,396	183,209	×	あり なし	● 農芸公園の整備完了がH26の冬になり、事業効果を発揮することができなかった。 道の駅の健康トイレの利用者減の影響が大きい。	平成28年1月		
指標2		観光入込客数	人／年	709,100	H21	734,000	H27	805,400	804,000	○	あり なし	花と芝生のまちづくりの継続、公園広場など によるイベントや展覧会事業などの継続が 要因に考えられる。また、東日本大震災の影響 もあると考えられる。	平成28年4月		
指標3		定住者人口	人	5,694	H21	5,500	H27	5,598	5,548	○	あり なし	花と芝生のまちづくりによる景観、環境整備 や宅地分譲中のいずみ野団地の道路整備 などを実施し、居住環境が向上したことや、 福祉・医療政策や学校教育の充実なども要 因と考えられる。	平成28年4月		
指標4											あり なし				
指標5											あり なし				
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単 位	従前値		目 標 値		数 値		目 標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期		
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の 数値指標1														
	その他の 数値指標2														
	その他の 数値指標3														
4)定性的な効果 発現状況															
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング		平成24年度と平成26年度にモニタリングを実施し、事業効果を確認した。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●		
	住民参加 プロセス		なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり 体制の構築		「花と芝生のまちづくり推進協議会」や「鹿追町環境推進協議会」 などを中心に、計画期間終了後も町の景観・環境の整備を図る。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●		
													今後も協力して良好な景観・環境整備を推進していく。		

様式2-2 地区の概要

[illegible]

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

~~添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測~~

~~添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況~~

(2) 実施過程の評価

添付様式3-① モニタリングの実施状況

~~添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況~~

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

添付様式5-② まちの課題の変化

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

~~添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見~~

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

~~添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)~~

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

~~添付様式9 有識者からの意見聴取~~

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	泉町4丁目東仲通り	23	L=357m	17	L=344m	事業期間の延長及び設計・入札等による事業費減	当初計画より事業費は減少しているが、事業内容は当初計画どおりであり、指標への影響は無い。	●	
道路	東町1丁目本通り	12	L=184m	31	L=184m	設計変更等による事業期間の変更及び事業費の増	当初計画より事業費は増加しているが、事業内容は当初計画どおりであり、指標への影響は無い。	●	
道路	東町2丁目通り	17	L=260m	28	L=260m	設計・入札等による事業期間の変更及び事業費の増	当初計画より事業費は増加しているが、事業内容は当初計画どおりであり、指標への影響は無い。	●	
道路	4丁目北通り	20	L=127m	37	L=282m	設計・入札等による事業期間の変更及び事業費の増	当初計画より事業費は増加しているが、事業内容は当初計画どおりであり、指標への影響は無い。	●	
道路	新町北本通り	33	L=355m	36	L=355m	設計・入札等による事業期間の変更及び事業費の増	当初計画より事業費は増加しているが、事業内容は当初計画どおりであり、指標への影響は無い。	●	
道路	仲町北仲通り	33	L=355m	41	L=355m	設計・入札等による事業期間の変更及び事業費の増	当初計画より事業費は増加しているが、事業内容は当初計画どおりであり、指標への影響は無い。	●	
道路	2丁目仲通り	18	L=115m	16	L=118m	設計・入札等による事業費の減	当初計画より事業費は減少しているが、事業内容は当初計画どおりであり、指標への影響は無い。	●	
道路	元町仲通り	44	L=285m	36	L=285m	設計・入札等による事業期間の変更及び事業費の減	当初計画より事業費は減少しているが、事業内容は当初計画どおりであり、指標への影響は無い。	●	
道路	泉町4丁目本通り	—	—	21	L=150m	いずみ野団地第4次分譲に伴う事業追加	定住者人口の指標に影響するが、目標数値は据え置く。	●	
道路	泉町4丁目西通り	—	—	26	L=140m	いずみ野団地第4次分譲に伴う事業追加	定住者人口の指標に影響するが、目標数値は据え置く。	●	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	緑地 農芸公園	50	A=15ha	76	A=15ha	設計・入札等による事業期間の変更及び事業費の増	周辺観光施設の利用者数、観光入込客数の指標に影響するが、目標数値は据え置く。	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
花と芝生のまちづくり推進事業		鹿追町	35	35	H23～H27	H23～H27	継続事業	

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
		単位			基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし
指標 1	周辺観光施設の利用者数	人／年	平成26年1月1日から12月31日における道の駅しかおいの施設(神田日勝記念館、健康トイレ)の利用者数の実績値とした。	210,561	H16	210,000	H21	217,000	H27	モニタリング		205,396	モニタリング	×	●	
										事後評価	確定 見込み	●	183,209	事後評価		
指標 2	観光入込客数	人／年	平成25年4月1日から平成26年3月31日における鹿追町内の主な観光スポット、飲食店、宿泊施設等に入込客数の調査を行い基礎データとし、従前値(H21)からH25までの変化率及び観光担当課の意見から評価値を推測する。	611,100	H11	709,100	H21	734,000	H27	モニタリング		805,400	モニタリング	○		
										事後評価	確定 見込み	●	804,000	事後評価		
指標 3	定住者人口	人	平成23年度から平成25年度までの住民基本台帳の人口を基礎データとし、従前値(H21)からH25までの変化数から評価値を推測する。	6,206	H11	5,694	H21	5,500	H27	モニタリング		5,598	モニタリング	○		
										事後評価	確定 見込み	●	5,548	事後評価		

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	指標に影響すると思われる事業(農芸公園)の整備完了がH26の冬になり、周辺観光施設の利用者数増に寄与できなかった。1年後のフォローアップの時期には、事業効果を発揮することが見込まれている。	指標の計測の際に道の駅しかおい直売所のレジ通過者数も参考にすることでより精度を高めることができる。
指標2	「花と芝生のまち」の定着や、知名度の向上が考えられる。また、平成23年の東日本大震災の影響で、北海道への観光客や修学旅行生が増加したことも関与している。	
指標3	いずみ野団地の道路整備など居住環境の向上を図ったことで、定住者人口の減少を抑制することができた。	いずみ野団地以外の道路整備について、事業効果がわかりにくかった。近隣住民にアンケートなど行うことで効果を把握しやすくなると考える。
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2ー② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
				基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1								モニタリング		
								事後評価	確定 見込み	
その他の 数値指標2								モニタリング		
								事後評価	確定 見込み	
その他の 数値指標3								モニタリング		
								事後評価	確定 見込み	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3ー① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
指標1～3のモニタリング	予定どおり実施した	● 計画期間中、H24とH26にモニタリングを実施し、結果をホームページで公開した。(国には報告していない)	
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3ー② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3ー③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
「花と芝生のまちづくり推進協議会」や「鹿追町環境推進協力会」を中心に官民一体となり景観・環境の整備を図る	予定どおり実施した	● 事業内容などには影響していないが、団体の継続的な活動により、良好な景観形成の取組が定着してきている。	花と芝生のまちづくり推進協議会 (平成12年設立) 鹿追町環境推進協力会 (昭和35年設立)	今後も協力して良好な景観・環境整備を推進していく。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事後評価検討会議	企画財政課、建設水道課、商工観光課、町民課	各事業、指標などの関係各課と意見交換を実施 平成27年1月16日実施	企画財政課 (交付金担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2		指標3					
指 標 名		観光入込客数		定住者人口					
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業	(道路) 泉町4丁目東仲通り	—	指標に影響を与える と考えられる「農芸公 園」の整備が完了した のが、H26の冬になっ たが、指標目標は達成 できている。 要因としては、花と芝 生のまちづくりの継続、 公園広場などによるイ ベントや展覧会事業な どの継続が考えられ る。 また、H23に発生した 東日本大震災の影響 による町内への修学旅 行生の増加なども要因 として挙げられる。	◎	花と芝生のまちづくり による景観・環境整備 や宅地分譲中のいず み野団地の道路整備 などを実施し、居住環 境が向上したことが要 因と考えられる。 また、福祉・医療政策 や学校教育の充実など も要因として挙げられ る。				
	(道路) 東町1丁目本通り	—		○					
	(道路) 東町2丁目通り	—		○					
	(道路) 4丁目北通り	—		◎					
	(道路) 新町北本通り	—		○					
	(道路) 仲町北仲通り	—		○					
	(道路) 2丁目仲通り	—		○					
	(道路) 元町仲通り	—		○					
	(道路) 泉町4丁目本通り	—		◎					
	(道路) 泉町4丁目西通り	—		◎					
提案事業	(地域生活基盤施設) 農芸公園	△		—					
関連事業	花と芝生のまちづくり推進事業	◎		○					

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に
貢献しなかった。
—：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確
なので、評価できない。

今後の活用	農芸公園の整備を更に進めるとともに、花と芝生のまちづくり、公園広場などによるイベントや展覧会事業の継続により観光入込客数の増加を目指す。	花と芝生のまちづくりと快適な居住環境の整備を推進し、定住人口の減少を最小限に留めることを目指す。		
-------	--	--	--	--

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1											
指 標 名		周辺観光施設の利用者数											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	(道路) 泉町4丁目東仲通り	－	指標に影響を与えられ「農芸公園」の整備が完了したのがH26の冬になり、事業効果を発揮することができなかった。指標目標は達成できなかったが、花と芝生のまちづくりはある程度の効果があったと考えられる。道の駅の健康トイレの利用者減の影響が大きい。	分類Ⅲ									
	(道路) 東町1丁目本通り	－											
	(道路) 東町2丁目通り	－											
	(道路) 4丁目北通り	－											
	(道路) 新町北本通り	－											
	(道路) 仲町北仲通り	－											
	(道路) 2丁目仲通り	－											
	(道路) 元町仲通り	－											
	(道路) 泉町4丁目本通り	－											
	(道路) 泉町4丁目西通り	－											
提案事業	(地域生活基盤施設) 農芸公園	△											
関連事業	花と芝生のまちづくり推進事業	△											

※目標未達成への影響度
× ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	農芸公園の整備を更に進め、花と芝生のまちづくりと合わせて利用者数の増加を図っていく。 また、健康トイレの利用者減について、一過性のものかフォローアップにて確認する。			
------------------	---	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5ー① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事後評価検討会議	企画財政課、建設水道課、商工観光課、町民課	各事業、指標などの関係各課と意見交換を実施 平成27年1月16日実施	企画財政課 (交付金担当課)

添付様式5ー② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
道路・歩道の整備によって、歩行者・運転者の安全性及び快適性の向上を図る	多くの道路・歩道を整備し、歩行者・運転者の安全性及び快適性の向上を図ることができた。	計画期間内に予定した事業はすべて実施できたが、引き続き町内の道路・歩道の整備を行い歩行者・運転者の安全性及び快適性の向上に努める必要がある。	
景観及び環境美化と併せて道路・歩道の整備を実施し、魅力的な「まちなか」を形成する	花と芝生のまちづくりと併せた道路・歩道の整備を実施し、良好な景観整備を推進することができた。		
観光施設及び商業施設の利用促進を図るとともに、花と芝生のまちづくりと一体となった観光地づくりが必要	農芸公園の整備により花と芝生のまちづくりを推進し、「花と芝生のまち」のイメージの定着を促進できた。	農芸公園の整備を更に進めるとともに、観光施設及び商業施設の利用促進を図る必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	安心・安全なまちづくり	道路、歩道など、年数の経過とともに整備が必要であると思われる箇所に対し、今後も継続的に実施していく必要がある。	・主要町道等の機能強化、整備
	観光の継続的な振興	様々な観光戦略や継続的な花と芝生のまちづくりなどの効果もあり、「十勝しかおい」のイメージ、知名度は向上してきていると思われる。 今後も継続した観光戦略、花と芝生のまちづくり等により、観光客を鹿追町に呼び込み、ひいては商店街など市街中心部に引き込むような取組を実施していく必要がある。	・観光振興事業 ・花と芝生のまちづくり

B欄 改 善 策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	歩行者の更なる快適性・安全性の確保	整備不良な区間や、破損により修繕が必要な区間など、住民に身近な道路の整備を実施し、歩行者の快適性・安全性の向上を図るとともに、花と芝生のまちづくりと併せた良好な景観形成を目指す。	・主要町道等の機能強化、整備 ・花と芝生のまちづくり
	農芸公園の整備の継続	農芸公園の整備を進め、魅力ある観光地づくりを目指す。	・農芸公園整備の推進

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

☐	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
☐	事業の実施過程の評価（添付様式3）を再確認した。
☐	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式4ー②）を再確認した。
☐	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式4ー③）を再確認した。
☐	残された課題や新たな課題（添付様式5ー②）を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2－①、2－②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2－①、2－②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画				
			年度		年度					予定時期	計測方法	その他特記事項				
指標1	周辺観光施設の利用者数	人／年	210,000	H21	217,000	H27	確定 見込み	●	183,209	×	あり なし	●	→	平成28年1月	道の駅しかおいの利用客数を調査	健康トイレ利用者数について傾向を確認
指標2	観光入込客数	人／年	709,100	H21	734,000	H27	確定 見込み	●	804,000	○	あり なし		→	平成28年4月	商工観光課にて観光客入込数の計測	
指標3	定住者人口	人	5,694	H21	5,500	H27	確定 見込み	●	5,548	○	あり なし		→	平成28年4月	住民基本台帳の数値により確認	
指標4				H		H	確定 見込み				あり なし		→			
指標5				H		H	確定 見込み				あり なし		→			
その他の数値指標1				H			確定 見込み						→			
その他の数値指標2				H			確定 見込み						→			
その他の数値指標3				H			確定 見込み						→			



添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標・成果の達成	うまくいった点		フォローアップにて事業効果を確認する。
	うまくいかなかった点	農芸公園の竣工時期の関係で、事業効果を数値目標に反映できなかった。	
数値目標と目標・事業との整合性等	うまくいった点	数値の把握が容易な指標を設定することができ、目標と事業の整合性も取れていた。	同様に、指標化しやすく、把握が容易であり、かつ、目標に対して適当な指標を設定することで、モニタリングやPDCAを実施しやすくなると思われる。 住民アンケートなど行うことで事業効果を把握しやすくなると思われる。
	うまくいかなかった点	事業効果の指標への直接的な影響が計測できなかった。	
住民参加・情報公開	うまくいった点	モニタリングを実施し、計画の進捗状況について町ホームページで公開した。	モニタリング結果について、積極的に住民意見を募集することで、住民参加を促すことができると思われる。
	うまくいかなかった点	モニタリングによる情報公開はしたもの、地域住民が意見を出しやすい機会を作ることができなかった。	
PDCAによる事業・評価の進め方	うまくいった点		モニタリングによる分析結果を計画に反映することでより効果的なまちづくりが実施できると思われる。
	うまくいかなかった点	計画期間中2回モニタリングを行ったが、分析結果を計画に反映することができなかった。	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町のホームページに掲載	平成27年2月2日～15日 2週間	平成27年2月2日～15日 2週間	担当課へ郵送、FAX、 E-mailなど	企画財政課 (交付金担当課)
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	特になし
-------	------

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	津久井 寛 (帯広大谷短期大学生活科学科教授)	平成26年12月15日(第1回) 平成27年3月26日(第2回)	企画財政課 (交付金担当課)	鹿追町都市再生整備計画 事後評価委員会設置要綱	—
その他の委員	今川 四郎 (鹿戦会会長、鹿追町パークゴルフ協会会長) 林 正信 (鹿追町商工会事務局長)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	
	事後評価原案の公表の妥当性	広報誌の活用など、より住民周知に努める必要がある。
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	妥当と確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	農芸公園を効果的に活用するために、様々なことを検討してほしい。
	フォローアップ	農芸公園の事業効果について、フォローアップで確認してほしい。
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当と確認された。
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--